

# 広範な情報交換・情報発信を



一般社団法人日本塗料工業会  
会長 毛利訓士

2026年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。平素から、一般社団法人日本塗料工業会の活動に格別のご支援、ご協力を賜り、心から感謝申し上げます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

さて、2025年は、国際的には、世界経済の不確実性の高まり、地政学的な緊張の継続等ビジネスにとって厳しい環境が継続いたしました。

一方、国内においては、憲政史上初の女性総理の誕生、日経平均株価5万円超、金相場2万円超、国内最高気温40度超等新たな幕開けとなった年でした。また、多くの分野で生成AIの利用が加速した年でもありました。

この様な変化の激しい状況にあっては、最新かつ正確な情報の発信と収集が重要な課題となります。このため、2025年開催の塗料・塗装設備展では、塗料関連の最先端の情報を満載し、出展者相互の情報交換も活発に行える「ペイントパビリオン」を出展致しました。「ペイントパビリオン」には、17の会社・団体にご参加頂き、個別対応では実現できない広範な情報交換・情報発信を実現致しました。この活動は、2026年にも引継ぎ、より大きな潮流に育てて参りたいと考えております。

2025年の塗料業界は、継続している原料価格、エネルギー価格の高騰の中で、製造、販売共に厳しい結果が予想されています。

2026年は、新規の需要拡大を進めるためにも、着色、表面保護といった塗料本来の役割・効果に加え、遮熱、抗菌の様な追加の機能、性能等を強化する必要があると考えています。

また、製販協力しながら積極的な人材育成も重要と考えています。2024年にパワーアップしたCCSセミナーを2025年に更に充実させ、受講者の皆様からは好評を頂いているところです。2026年も業界の発展を担う皆様のご参加をお待ちしています。

更に、塗料製造現場の安全教育教材として開発致しました、「塗料業界向け労働災害体験VRコンテンツ」につきましては、既に多くの方に体験頂き、多くの企業でご購入、複数のご注文、お問い合わせを頂いていると伺っています。日塗工では会員各社に対して無料の貸し出しサービスを実施致しておりますのでご活用ください。

2026年におきましても、日本塗料工業会は日本の産業界の一員として、社会の発展に貢献するため一層の努力を重ねて参りたいと考えております。関係者の皆様の引き続きのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。